

# 防除と消毒<sup>🍅</sup>



野菜・小麦のうどんこ病、さくの白さび病などの防除と稲の種子消毒に！

## トリフミン<sup>®</sup>乳剤

有効成分：トリフルミゾール…15.0%

人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

### 汚れの心配がない乳剤タイプ

- 稲の種子消毒と、野菜・花などの病害防除に使用できます。
- 乳剤なので、作物に対する汚れの心配がありません。
- 薬剤の計量・希釈が容易にできます。
- 予防効果と治療効果に優れ、病斑の拡大や孢子形成を阻止します。

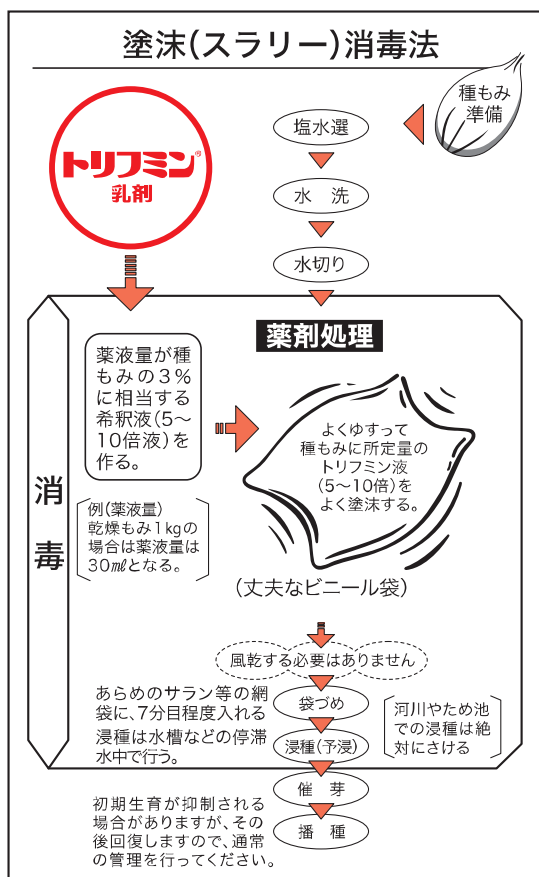
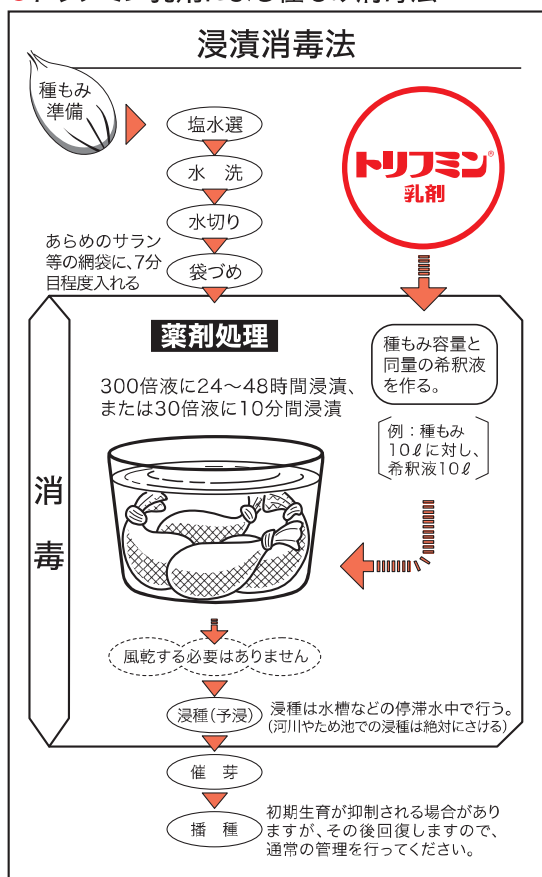


●適用病害と使用方法

\*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数を示す。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期*	本剤の使用回数	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数	使用方法
稲	ばか苗病 ごま茎枯病 いもち病	30	—	浸種前	1回	1回	10分間種子浸漬
		300					24～48時間種子浸漬
		5～10	乾燥種もみ 1kg当たり 希釈液30ml				種子吹き付け処理 (種子消毒機使用) または塗沫処理
小麦	赤かび病	1,000	60～150 ℓ/10a	収穫3日前 まで	3回以内	3回以内 (種子粉衣は1回以内)	散 布
	うどんこ病	2,000	100～300 ℓ/10a	収穫前日 まで	5回以内	5回以内	
なす	うどんこ病						
トマト	すすかび病						
ミニトマト	葉かび病						
ぎく	白さび病	1,000	—	—	—	—	
こんにゃく	乾腐病	30	150ml/ 種いも1m <sup>2</sup>	植付前	1回	1回	種いもの芽基部に散布
チューリップ	球根腐敗病	—	—	—	—	—	10分間球根浸漬

●トリフミン乳剤による種もみ消毒法



体系処理および混用の可能な薬剤(実施例)

対象	処理法	薬剤名
苗立枯病防除剤等	土壌処理	タチガレン粉剤、タチガレンエース粉剤、ダコニール粉剤、カスミン粒剤、パダン粒剤4
	土壌注液	タチガレン液剤、ダコニール1000ダコレート水和剤
シングルセンチュウ防除剤	種もみ消毒	スミチオン乳剤、パダンSG水溶剤
もみ枯細菌病防除剤	種もみ消毒	スターナ水和剤

10アール当たりトリフミン乳剤薬量早見表

10アール当たり播種量	浸漬法(水)	塗沫法					
		300倍(薬量)	30倍(薬量)	5倍(水)	10倍(薬量)		
3kg	6ℓ	20ml	200ml	72ml	18ml	81ml	9ml
4kg	8ℓ	27ml	267ml	96ml	24ml	108ml	12ml
5kg	10ℓ	33ml	333ml	120ml	30ml	135ml	15ml

包装：(100ml×10本)×6箱、500ml×20本

⚠効果・薬害等の注意

- 稲の種子消毒に使用する場合には、次の注意を守ってください。  
(1)種子消毒は浸種前に行い、消毒後は水洗せずに浸種してください。  
(2)浸漬処理の場合、もみと処理薬液の容量比は1：1以上とし、種もみはサラン網などの粗目の袋を用い、薬液処理時によくゆすってください。  
(3)薬液の温度は極端な低温をさけてください。  
(4)吹き付け処理の場合は専用の種子消毒機を使用し、種もみに均一に付着させて乾燥させてください。また、塗沫処理の場合は適当な容器内で種もみを攪拌しながら薬液を滴下するなどして、種もみに均一に付着させてください。  
(5)本剤処理を行った種もみを浸種する場合は、次の注意事項を守ってください。  
①浴比は1：2とし、浸種は停滞水中で行ってください。  
②河川・湖沼・ため池などで浸種しないでください。  
(6)本剤の処理により軽度の初期生育遅延が認められる場合がありますが、その後回復するので、通常の管理を維持してください。

- うり類の幼苗期には、濃緑化症状および生育抑制が生じることがあるので、使用しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないようにしてください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。また、使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- 原液は眼に対して強い刺激があるので、薬液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。また、散布液も眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意し、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないように注意し、付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣を着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに、衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
- 薬剤処理した種子は、食料・飼料に用いないように注意してください。

保管：密栓し、火気及び直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

(※本印刷物は、2017年11月時点での知見に基づいて作成しています。)



## 日本曹達株式会社

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号  
 ☎(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084  
 ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>  
 大阪支店 ☎(06)6229-7343 関東営業所 ☎(048)677-6010  
 札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003  
 仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336  
 信越営業所 ☎(0255)81-2323 松山営業所 ☎(089)931-7315